

また、現在、BMDの一においては、弾道ミサイルを加え、巡航ミサイル艦にあっては、BMD任務をはじめとする各種ミサイル能力の飛躍的な向上に伴って日米の役割分担(船と空)にも若干の修正が必要であり、抑止を強化する観点からの対空攻撃能力等の付与に際しては、早期に重層統制できるシステムの構築、並びに関係部隊が保有する装備品の増強を強く要とします。

### (5) 宇宙空間及びサイバー空間の利用及び対処

国家安全保障戦略において宇宙空間の安定的利用及び安全保障分野での活用を推進、サイバーセキュリティの強化が謳われており、

昨年4月、政府は、「宇宙基本計画」を閣議決定しました。この「宇宙基本計画」は、今後10年間で官民合わせて累計5兆円を目標とした宇宙機器産業の事業規模も盛り込んであります。

安全確保に関する宇宙利用においては、情報収集衛星の更なる能力向上とともに、ニア・リアルタイム監視を可能とする衛星の作戦及び海洋監視、さらには、宇宙状況監視もより有事の際に活用されるべきです。

### (6) 海洋状況把握(MDA: Maritime Domain Awareness) 体制の構築

我が国においては、海洋基本計画、宇宙基本計画及び国家安全保障戦略など、MDAの体制強化が言及され、昨年7月26日には、総務省が「MDAの体制強化」を推進するとして、我が国の海洋状況把握、いわゆるMDAの能力強化に向けた取り組みが極めて重要とされています。

### (7) 任務の多様化・国際化等に対応する人的防衛力の確保

防衛力の規模が縮減される中で自衛隊は、本来任務の増大に伴う人的措置として、その当時程度以上の勢力を確保する必要があります。

また、第一線部隊の自衛官の充足向上のためには、兵站・教育分野における業務に精通した事務官等の活用により自衛官の第一線部隊への転出を可能とすることも極めて

### (8) 有事等における元自衛隊員の有効活用

有事において、第一線部隊に専門的知識を必要とする分野が、量的にも支障する国民の助けが必要不可欠であります。

国民の一部として、既に自衛隊員としての経験を有する元自衛隊員を有効に活用することを提言します。

### (9) 国民に対する安全保障教育の充実

我が国の教育における安全保障の扱いは、十分とは言えません。平成27年に新学習指導要領に基づいて改訂された小学校教科書の検定において、安全保障に関する知識を適切に伝えることが重要とされています。

### 5 任務遂行のための環境整備 (自衛隊員の処遇改善等)

防衛省においては、55歳前後の若年定年を迎える自衛官は、退職後から年金生活に入る年齢までの生活維持を要するため、再就職が死活的に重要な問題ですが、厳しい雇用環境が継続しています。

また、現在、BMDの一においては、弾道ミサイルを加え、巡航ミサイル艦にあっては、BMD任務をはじめとする各種ミサイル能力の飛躍的な向上に伴って日米の役割分担(船と空)にも若干の修正が必要であり、抑止を強化する観点からの対空攻撃能力等の付与に際しては、早期に重層統制できるシステムの構築、並びに関係部隊が保有する装備品の増強を強く要とします。

### (8) 有事等における元自衛隊員の有効活用

有事において、第一線部隊に専門的知識を必要とする分野が、量的にも支障する国民の助けが必要不可欠であります。

国民の一部として、既に自衛隊員としての経験を有する元自衛隊員を有効に活用することを提言します。

### (9) 国民に対する安全保障教育の充実

我が国の教育における安全保障の扱いは、十分とは言えません。平成27年に新学習指導要領に基づいて改訂された小学校教科書の検定において、安全保障に関する知識を適切に伝えることが重要とされています。

### 5 任務遂行のための環境整備 (自衛隊員の処遇改善等)

防衛省においては、55歳前後の若年定年を迎える自衛官は、退職後から年金生活に入る年齢までの生活維持を要するため、再就職が死活的に重要な問題ですが、厳しい雇用環境が継続しています。

### (1) 隊員の再就職に関する施策の推進

55歳前後の若年定年を迎える自衛官は、退職後から年金生活に入る年齢までの生活維持を要するため、再就職が死活的に重要な問題ですが、厳しい雇用環境が継続しています。

### (2) 隊員の即応性確保を第義とした宿舎整備及び隊員が後顧の憂いなく任務に邁進し得る家族支援施策の推進

安全確保環境の変化や大規模災害の発生の高まりから、自衛隊の宿舎整備は、自衛隊員の即応性の更なる向上を目指した運用基盤の整備とするべきです。

### (3) 隊員の任務・職務の特性を適正に評価し得る給与と制度

自衛隊員の任務・職務の特性を適正に評価し得る給与と制度を整備することは、自衛隊員の士気向上に不可欠な要素とされています。

### (4) 隊員の使命感を醸成し得る栄典・礼遇の付与

厳しさを増す安全保障環境の下、国の防衛という崇高な使命を担う自衛隊員の職責に相応しい栄典・礼遇を付与することは、防衛力の向上に不可欠な要素とされています。

### (5) 戦闘における殉職者の追悼

平和安全法制が昨年施行された、困難な任務に就く隊員が、最も類似した事例と考えられ、国家レベルの追悼を行うべきではないかと、昨年度に於いて、自衛隊員から、この機会に、これまで正式に追悼されていない隊員について、追悼のあり方を検討し、国としての基本方針を確定することを提言します。

また、現在、BMDの一においては、弾道ミサイルを加え、巡航ミサイル艦にあっては、BMD任務をはじめとする各種ミサイル能力の飛躍的な向上に伴って日米の役割分担(船と空)にも若干の修正が必要であり、抑止を強化する観点からの対空攻撃能力等の付与に際しては、早期に重層統制できるシステムの構築、並びに関係部隊が保有する装備品の増強を強く要とします。

### (6) 予備自衛官等の制度の充実

予備自衛官制度をさらに充実し、その士気を高揚させるため、以下を提言します。

- 20年余も据え置かれていた予備自衛官手当の増額
- 雇用企業への雇用促進
- 自営業を営む即応予備自衛官に対する訓練
- 海上自衛隊への即応予備自衛官の増設
- 自衛隊員に対する訓練
- 予備自衛官の増設
- 自衛隊員に対する訓練
- 予備自衛官の増設

### (7) 働き方改革への対応

自衛隊における働き方の代替要員の確保等の環境整備を要します。

働き方改革の進展に伴い、自衛隊の即応性維持・向上のため、民間託児所との連携を強化するとともに、受け入れ基盤となる駐屯地厚生センター等の各種基盤整備を進めることを提言します。

### 6 防衛医科大学校の改革

防衛医科大学校(以下「防衛医大」)においては、医師(教官)・看護師等職員(以下「医療スタッフ」)の数の不足による患者数・症例数の減少が近年問題となっており、近年、自衛隊衛生において多数の医師の早期退職が慢性的な問題となっており。

### おわりに

平成27年9月、平和安全法制が成立するとともに、治安出動及び海上警備行動の下半手続の迅速化等が閣議決定されました。

隊友会が政策に関する要を初めに行った昭と安全を守り、任務を完了することが可能となること、法制備、防衛体制、自衛官の処遇等について、この政策提言が少しでも貢献できることを心から望みます。

### おわりに

防衛大臣を始め自衛隊員各位が今後益々活躍・ご発展され、さらに深く国民の負託と期待に応えられますよう我々一同心から祈念いたします。



平成29年10月